

坂出市地域おこし協力隊 令和6年度 活動報告会

2024.4/1-2025.3/31

2025年5月14日

杉山裕樹

自己紹介

杉山裕樹(すぎやま ゆうき)

埼玉県出身(現在36歳)

新卒でハウスメーカーに就職。

海外での暮らしを経験したくて

24歳の時にカナダ(トロント)へ留学。

その後、大阪にある留学代理店へ転職。

瀬戸内海に近い田舎で子育てしたいと

思い2023年4月に坂出市府中町に移住。

活動ミッション:観光促進



令和5年度(1年目)の活動

活動テーマ



令和6年度(2年目)の活動内容

活動テーマ

行動実践



島あるきイベント



教育旅行の誘致



スタンプラリー企画

①島あるきイベントの開催

第1弾 日帰り島旅 (岩黒島・与島)

【開催日】2024年11月10日(日)

【参加者】12名

【目的】

島への交流人口を増やす

趣味の写真を楽しむ

公共バスの利用促進

地域住民との交流



①島あるきイベントの開催

第2弾 日帰り島旅（櫃石島）

【開催日】2025年1月19日（日）

【参加者】12名（大人8名 小人4名）

【目的】

島への交流人口を増やす

坂出の食文化を味わう

公共バスの利用促進

地域住民との交流



島あるき参加者からの声

坂出育ちにもかかわらず、実際に島に入ったことがなかったので、島内をゆったり説明を聞きながら散策できたこと大変有意義な楽しい時間でした。与島のお母さんたちとの食事が楽しく、島の方々のあたたかさが伝わる美味しい食事でした。まだまだ住んでる地域のことも知らないことたくさんあるなって思いました。（市内在住 60代）

ひとりではとても経験できないことができ、非日常を味わえて面白かったです。想定以上に人の温かさ・優しさに触れて思い出深い1日になりました。参加者同士も話しやすい距離感・人数で、全体の規模感も良かった。（高松市在住 30代）

普段車以外に乗ることがないので、バスに乗るだけでも楽しい上に、高速道路をバスで通ったり、島民以外は車入れない島の中に行けるというワクワク感や、瀬戸大橋を渡っている電車を見下ろすという体験など、日常ではできないことがたくさんで、とても楽しめました。（善通寺市在住 40代）

瀬戸大橋がない時代から島で生活をされていた方の、生活実感がこめられたお話は個人的に大変興味深く、櫃石島の方も親戚のおじさんのように親しく接して下さり、とても楽しい時間でした。（市内在住 50代）

②台湾教育旅行の誘致

背景

坂出市内で農家民宿を営む方と台湾教育旅行の先進地高知県本山町へ視察。
四国で唯一、香川県だけ民泊を活用した教育旅行をしていなかったのも、
台湾の学生が坂出に滞在するインバウンド誘客のキッカケを作れたらと思い
6月から組織づくりに向けた声かけ・勉強会・郷土料理づくり研修などを実施。



②台湾教育旅行の誘致

2024年12月に10軒の宿泊事業者とOidemaiさぬき田舎体験推進協議会を設立。
令和7年1月に第1回目の台湾の高校生28名を誘致し、郷土料理づくりなどの
田舎暮らし体験を提供し、受け入れの様子などの撮影や動画編集に携わりました。



メディア掲載について

2025年1月23日
四国新聞

2025年2月4日
日本農業新聞

2025年2月5日
読売新聞

田舎暮らしし体感して

教育旅行受け入れ促進へ 県内民泊有志 グループ設立

県内の農家民宿・民泊が連携し、教育旅行の受け皿となるグループ「Oidemaiさぬき田舎体験」推進協議会を立ち上げた。第1弾として台湾からの教育旅行誘致に取り組む観光団体の支援を受け、21、22日に国立屏東女子高級中学の生徒28人を受け入れ、生徒たちはそれぞれの滞在先で郷土料理の調理を体験したり、日本文化に触れたりして香川の田舎暮らしを満喫した。

教育旅行の受け入れ先となるには一定規模以上の受け皿が必要で、グループは課題解決に向け、高松、丸亀、坂出、綾川の各市町で農家民宿や民泊を営む10軒の有志者昨年12月に設立。台湾と四国の窓口を一本化し、伝統文化体験などの受け入れ調整を行う四国プロダクティブ観光振興事業推進協議会（泉雅文会長）とタッグを組んだ。

台湾からの生徒が訪れた21日には高松市国分寺町で、入村式を開催。泉会長が「安全安心に皆さんを受け入れるため研修も重ねてきた。家族の一員として一緒に過ごしながら、香川の風土や文化に触れて」と歓迎し、生徒代表の黄子辰さん（17）は「滞在先が自分の家族と同じような大切な存在になろう」と胸を膨らませた。

滞在先で郷土料理作りを体験する台湾の生徒たち＝高松市国分寺町

第1弾 台湾の生徒が来県

その後、生徒は滞在先の代表者らに案内され、各施設へ移動。近隣の民泊「福猫」には生徒4人、まれば初め、「いっしょが入り、スマートフォン」たつて暖を取ったりして

日本の家庭を体感。一緒に打ち込み汁などの夕食も作り、福猫代表の福井みゆきさん（54）は「郷土料理を残したい。短い時間だけだけど、楽しかったです」とうれしそうに目を細めた。

グループでは受け入れ先となる農家民宿や民泊を募っており、福木明美会長は「もっと仲間の輪を広げ、優しい親切な日本人を肌で感じてもらう機会を提供できれば」としている。問い合わせは日本観光振興協会四国事務局（070-1217-5516）まで。

教育旅行受け入れ 台湾から初の誘致

「田舎体験」推進協議会 台湾から初の誘致

香川の農家民宿・民泊10軒

【かがわ】香川県内の農家民宿・民泊10軒が参加し、教育旅行のホームステイを受け入れるグループ「Oidemaiさぬき田舎体験」推進協議会を設立した。1月下旬には、台湾から国立屏東（ピントン）女子高級中学の生徒28人を初めて受け入れた。生徒たちは、それぞれの滞在先で郷土料理を一緒に調理するなど、田舎暮らしを体験した。

四国4県や四国4県の観光協会などで構成ムステイを受け入れる団体は、徳島、愛媛、高松、丸亀、坂出、綾川の各市町で農家民宿や民泊を営む10軒の有志者昨年12月に設立。台湾と四国の窓口を一本化し、伝統文化体験などの受け入れ調整を行う四国プロダクティブ観光振興事業推進協議会（泉雅文会長）とタッグを組んだ。

台湾からの生徒が訪れた21日には高松市国分寺町で、入村式を開催。泉会長が「安全安心に皆さんを受け入れるため研修も重ねてきた。家族の一員として一緒に過ごしながら、香川の風土や文化に触れて」と歓迎し、生徒代表の黄子辰さん（17）は「滞在先が自分の家族と同じような大切な存在になろう」と胸を膨らませた。

滞在先で郷土料理作りを体験する台湾の生徒たち＝高松市国分寺町

就農受け入れ農家「親方」の声参考に

【鳥取中央】鳥取県中部農業センター（鳥取市）で、就農受け入れ農家の「親方」の声を参考に、就農後の生活や労働環境について、就農希望者や農業者らと話し合う「就農相談会」が、2月4日、鳥取市で開かれた。就農希望者らと農業者らと話し合う「就農相談会」が、2月4日、鳥取市で開かれた。

就農希望者らと農業者らと話し合う「就農相談会」が、2月4日、鳥取市で開かれた。

教育旅行受け入れ促進

第1弾 台湾の生徒もてなす

民宿・民泊10軒、協議会設立

県内で農家民宿・民泊を営む10軒が昨年、修学旅行など「教育旅行」の受け入れを促進しようと、「Oidemaiさぬき田舎体験」推進協議会を設立した。1月には第1弾として台湾からの生徒たちが泊まり、郷土料理づくりや香川の文化を体験。協議会は、国内外から教育旅行の呼び込みにつなげたいとしている。（福島勝彦）

教育旅行は団体旅行で、まとまった人数の利用があり、地域振興が期待される。一方で、受け入れには宿泊施設の確保が課題となるため、協議会には高松、丸亀、坂出、綾川の各市町で農家民宿などを営む有志が集まった。

台湾から四国への教育旅行の誘致を行う「四国プロダクティブ観光振興事業推進協議会」が調整を務め、今回台湾最南端に位置する屏東県の「国立屏東女子高級中学」の12年生計28人が、四国・関西旅行の訪問の一環として来県した。1月21日には、高松市国分寺町で入村式が行われ、生徒たちは5人のグループに分かれ、滞泊先の各家庭と対面。

級中学の12年生計28人が、四国・関西旅行の訪問の一環として来県した。1月21日には、高松市国分寺町で入村式が行われ、生徒たちは5人のグループに分かれ、滞泊先の各家庭と対面。

滞泊施設で香川の郷土料理づくりを体験する生徒たち＝県提供

神ちゃんへ。代表の神内博美さん（70）夫妻と一緒に、地元の山で仕留められたイノシシの焼き肉や特産のミカンなどを味わった。

神内さんはスマートフォンで会話を楽しんだという。「おいしい食事と海が見える景色が最高だったと喜んでいたら、楽しんでくれたと思う」と話した。

また、国分寺町の「福猫」に泊まった4人は、ひな飾りの見学や郷土料理の「打ち込み汁」の具材作りなどに挑戦した。

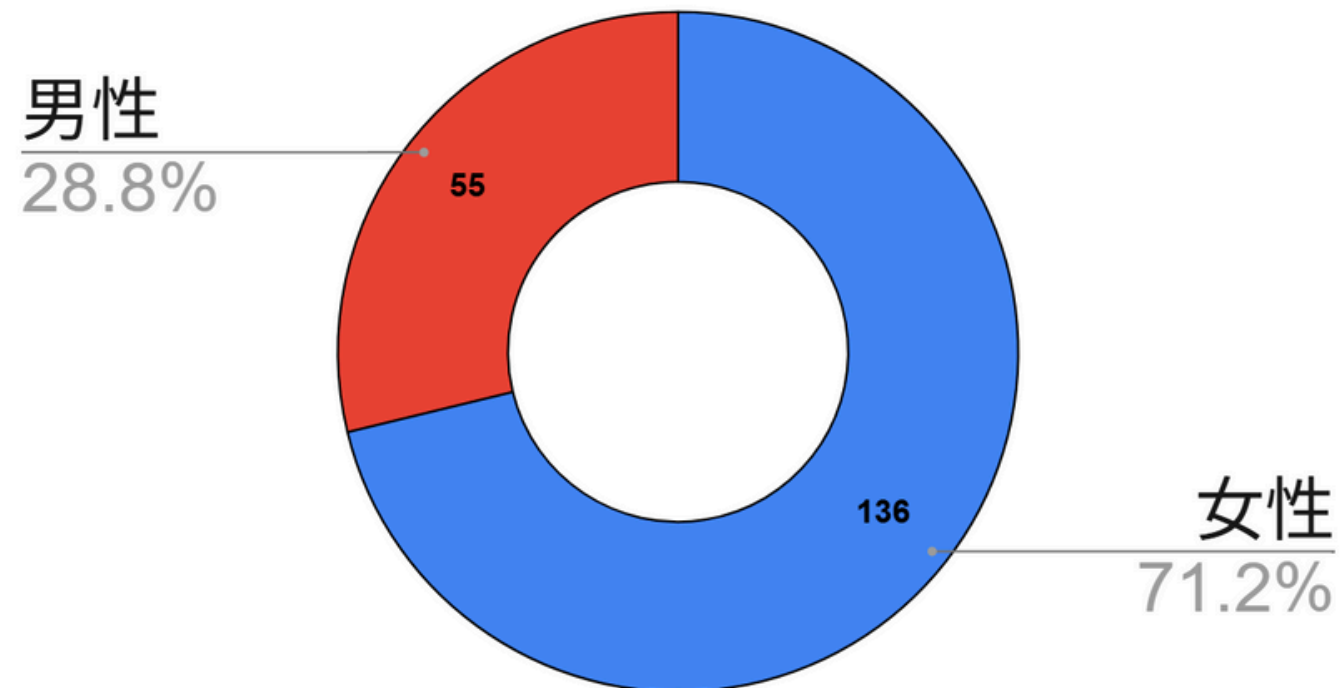
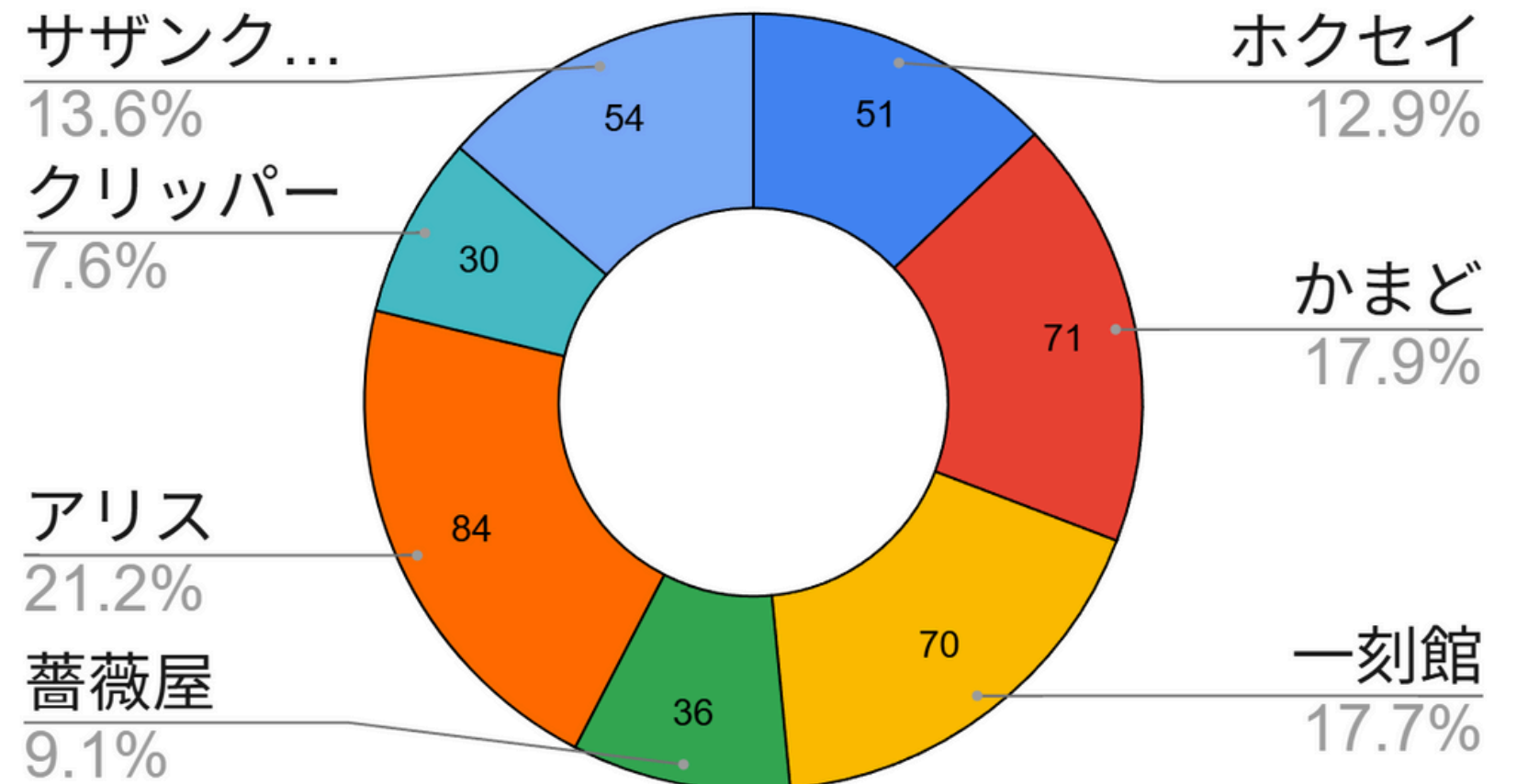
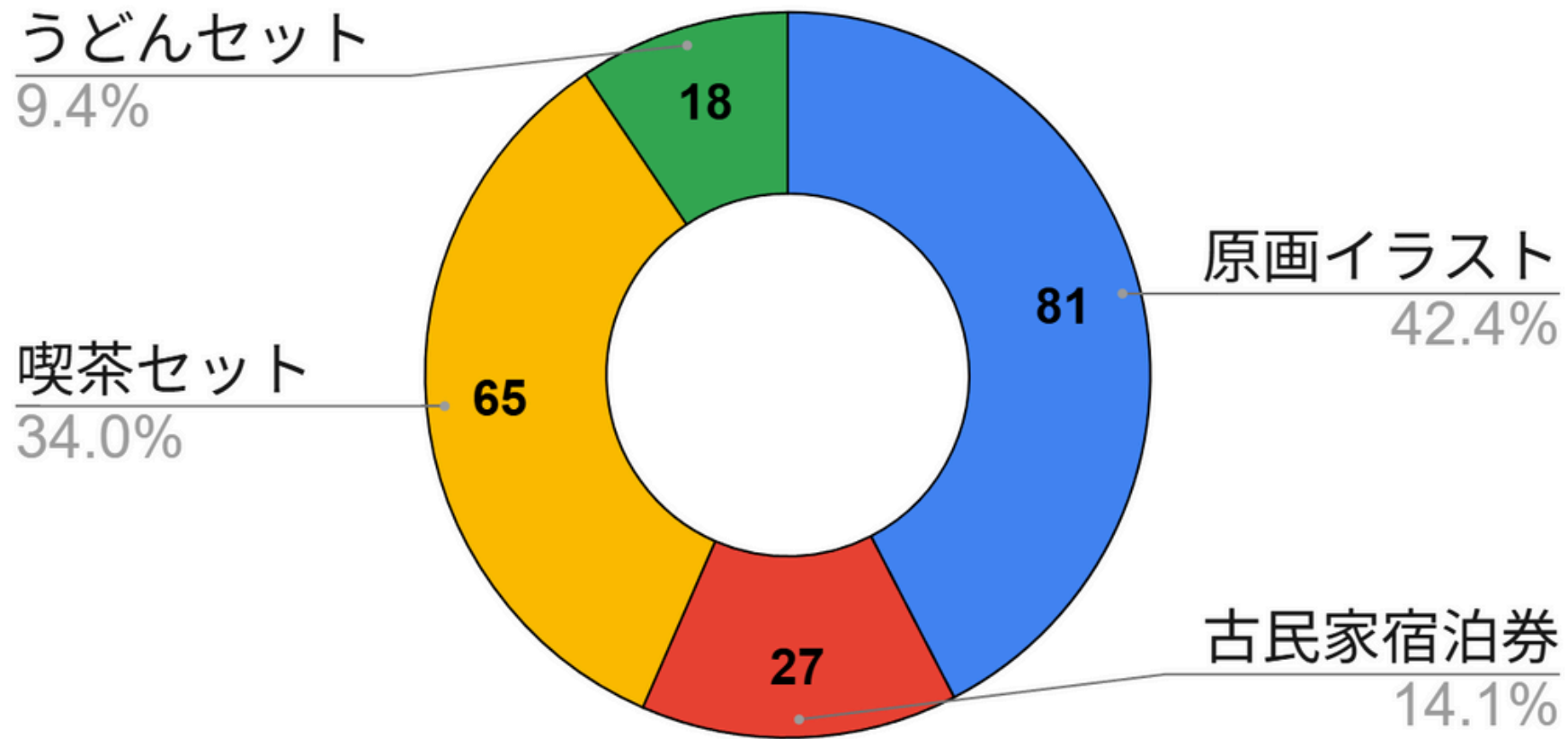
「Oidemaiさぬき田舎体験」推進協議会の福木明美会長は「香川の良さを知ってもらおうと、各施設が考え、準備して受け入れてくれた。経験を積んで進めていけたら話す。県農村整備課は県内初の取り組みで、活動の輪が広がればと期待している。同協議会では、受け入れ可能な農家民宿の参加を募っている。問い合わせは日本観光振興協会四国事務局（070-1217-5516）へ。

②スタンプラリーの企画

坂出市を訪れる観光客の市内消費の少なさと滞在時間の短さを改善するために瀬戸芸の春会期に合わせて、市内の老舗喫茶店(7軒)をめぐるスタンプラリーを企画。1人500円以上の店内飲食で1つスタンプがもらえ、2つ集めると坂出ゆかりの商品が当たる景品と参加者特典のオリジナルステッカーを用意。



スタンプラリーの途中経過



**属性：市内62名
市外97名
県外32名**

その他の取り組み

SNS運用



フォロワー:1157



フォロワー:849

ドローンの活用



趣味の写真を活かし
違う視点での坂出の
魅力を発信

広告運用



SNS広告を活用し
市内イベント情報を
県外向けに認知

今後の取り組み

【観光コンテンツの造成】

観光客と地域をつなぐ、まちあるきツアーなどを造成するために旅行業の資格を取得し、坂出での交流人口増加を目指す。

【観光PR動画の作成】

季節ごとの坂出の魅力を発信するために、動画の撮影・編集を行い坂出市の認知度向上につなげる。

【定住に向けた起業の準備】

空き家を活用した民泊施設の運営準備、ドローン空撮や動画編集広告運用など、多業で生計を立てていく予定。



ご清聴、ありがとうございました。